

第2回
「借金王ランキング」
調査

2022年10月

あなたの会社の **e-審査部**
リスクモンスター株式会社

<https://www.riskmonster.co.jp>

■ 調査の概要

1. 調査名称

第2回「借金王ランキング」調査

2. 調査方法

決算書の分析結果に基づく調査

3. 調査対象決算期

2022年7月1日時点で開示されていた2021年4月期決算以降の最新決算

4. 調査対象企業

金融機関(銀行、証券会社、保険会社等)を除く、決算短信提出企業

5. 調査対象企業数

3,202社

1. 調査結果

[1] 「借金王ランキング」調査／ランキング結果

決算短信記載の有利子負債に基づいて集計したところ、ランキング1位は「トヨタ自動車」(有利子負債 26 兆 4,964 億円)であった。次いで「ソフトバンクグループ」(同 21 兆 4,574 億円)が2位、「本田技研工業」(同8兆 1,026 億円)が3位となり、前回と同じ順位となった。また、4位以下に関しては、「三菱 HC キャピタル」(同7兆 4,616 億円)、「日本電信電話」(同7兆 3,643 億円)、「日産自動車」(同6兆 9,978 億円)、「ソフトバンク」(同5兆 9,995 億円)の順となった。

上位 20 社の業種としては、自動車製造業、物品賃貸業、通信業、電気小売業が3社ずつランクインした。特に、自動車製造業と通信業においては上位7社までに3社ずつランクインしており、有利子負債の多さが目立つ結果となった。

また、上位 20 社において売上規模と有利子負債を比較したところ、上位 20 社のうち 12 社が年商以上の有利子負債を有する結果となった。特に物品賃貸業、不動産賃貸業・管理業においては、上位 20 社にランクインした全ての企業において有利子負債が年商を上回っており、借入れが嵩みやすい業種であることがわかる。

前回順位との比較においては、イメージセンサー向けの設備投資を 2,000 億円増強するなど設備投資を強化した「ソニーグループ」(前回 33 位→今回 18 位)が大幅にランクアップした。(図表 A)

なお、トップ 100 については、図表Bにまとめた。(図表B)

[2] 「借金王ランキング」調査／上位企業 安全性分析

有利子負債上位 20 社の安全性を調査するために「現預金回転期間」、「借入依存度」、「自己資本比率」について分析したところ、現預金回転期間(現預金÷月商)では、「楽天グループ」、「ソフトバンクグループ」、「三菱 HC キャピタル」、「ソフトバンク」、「本田技研工業」が上位となり、リスクモンスターの倒産確率分析(以下、倒産確率分析)において高リスクとなる「1か月未満」の企業は 20 社中3社のみであった。また、借入依存度(総借入÷総資産×100)では、業種特性として借入金が増みやすい物品賃貸業と不動産業に該当する5社を除くと、倒産確率分析において高リスクとなる「50%超」の企業は「関西電力」、「九州電力」の2社のみとなった。おおむね借金王ランキング上位企業においては、高い安全性を保ちながら借入を行っていることがうかがえる。

自己資本比率においては、倒産確率分析においてリスクが上昇する「30%未満」の企業は 20 社中 12 社あるものの、これらの企業については、財務レバレッジ(総資産÷自己資本)を効かせることで多額の収益獲得につなげている企業と捉えることができよう。(図表C)

[3] 「借金王ランキング」調査／収益力ランキング

上場企業の収益力を計る指標として、「EBITDA」、「営業キャッシュフロー」を集計しランキングしたところ、EBITDAでは、「トヨタ自動車」、「日本電信電話」、「ソニーグループ」、「KDDI」、「ソフトバンク」が上位となり、営業キャッシュフローでは、「トヨタ自動車」、「日本電信電話」、「ソフトバンクグループ」、「本田技研工業」、「KDDI」が上位となった。

借金王ランキング上位 20 社のうち8社がEBITDAランキングにランクインし、12 社が営業キャ

キャッシュフローランキングにランクインしており、借入金と収益力との間に相関性がうかがえる結果となった。(図表D、図表E)

※EBITDA＝営業利益(税引前当期純利益＋特別損益＋支払利息)＋減価償却費

[4]「借金王ランキング」調査／前年同期比分析

借金王ランキング上位 20 社における前年度からの有利子負債増減額を集計したところ、増加が 15 社、減少が 5 社となった。(図表 F)

上場会社における有利子負債の増減を集計しランキングしたところ、増加企業上位は「ソフトバンクグループ」、「三菱 HC キャピタル」、「楽天グループ」となり、借金王ランキング上位企業が 12 社ランクインした。一方、減少企業上位は「日立製作所」、「協和キリン」、「日産自動車」となり、借金王ランキング上位 3 社がランクインした。

また、上場企業において有利子負債が増加した先(1,649 社)は全体の 51.5%となっており、前回調査の 62.3%から 10 ポイント以上低下した。昨年度はコロナ禍において不測の事態に備えるための借入の増加がみられたが、今回調査では経済動向を見据えた慎重な借入判断が行われているものと考えられる。(図表 G)

2. 総評

企業が借金を行う目的は、事業拡大と運転資金確保の2つに分けられる。借金によって事業の成長や安定化を図れる一方で、返済の目途が立たず資金繰りが限界に達すると倒産に至ることから、借金の多寡は倒産リスクに直結するといえる。本レポートは、企業が保有する有利子負債を集計し、安全性・収益性の観点から分析を実施したものである。

第2回借金王ランキングの上位3社は前回調査に続き「トヨタ自動車」、「ソフトバンクグループ」、「本田技研工業」となった。上位3社においては、EBITDAランキングと営業キャッシュフローランキングのいずれにおいても上位6位以内にランクインしているほか、「トヨタ自動車」、「本田技研工業」では、分析対象とした現預金回転期間、借入依存度、自己資本比率のすべてにおいて、優良な水準を保持している点、「ソフトバンクグループ」では、自己資本比率が 30%未満と低水準でありながらも、月商の 10 か月分の現預金を備え、高い支払い能力を有している点で、それぞれ高い安全性を有していることが表れている。

無計画な借金は倒産リスクの上昇につながるため、綿密な事業計画に基づいて、計画的な資金調達を行うことが重要である。その観点では本ランキング上位企業は、借入金額は多いものの安全性の低い企業はほとんど見られず、調達した資金を活用してキャッシュの創出につなげている点において、借金を上手に運用している企業といえよう。

今後、不透明な経済情勢のため先送りしていた設備投資を再開する企業や、円安の進行によって海外から国内に生産拠点をシフトするための設備投資を実施する企業など、企業における資金調達機会の増加が見込まれる中、上場企業だけでなく中小企業においても、安全性や企業価値を損なうことなく、事業を成長させるための適切な資金調達の方法・金額・タイミングを計っていくことは極めて重要な経営判断となろう。

図表A 第2回「借金王ランキング」調査／ランキングベスト20

順位	前回順位	企業名	都道府県	業種	有利子負債	売上高
1	1	トヨタ自動車	愛知県	自動車製造業	26兆4,964億円	31兆3,795億円
2	2	ソフトバンクグループ	東京都	通信業	21兆4,574億円	6兆2,215億円
3	3	本田技研工業	東京都	自動車製造業	8兆1,026億円	14兆5,527億円
4	10	三菱HCキャピタル	東京都	物品賃貸業	7兆4,616億円	1兆7,656億円
5	4	日本電信電話	東京都	通信業	7兆3,643億円	12兆1,564億円
6	5	日産自動車	神奈川県	自動車製造業	6兆9,978億円	8兆4,246億円
7	7	ソフトバンク	東京都	通信業	5兆9,995億円	5兆6,906億円
8	8	三菱商事	東京都	各種商品卸売業	5兆6,432億円	17兆2,648億円
9	11	東京電力ホールディングス	東京都	電気小売業	4兆9,426億円	5兆3,099億円
10	12	三井物産	東京都	各種商品卸売業	4兆8,775億円	11兆7,576億円
11	6	オリックス	東京都	物品賃貸業	4兆8,667億円	2兆5,204億円
12	14	関西電力	大阪府	電気小売業	4兆8,383億円	2兆8,519億円
13	16	楽天グループ	東京都	インターネット不随サービス業	4兆8,183億円	1兆6,818億円
14	9	武田薬品工業	東京都	化学工業	4兆3,454億円	3兆5,690億円
15	13	東京センチュリー	東京都	物品賃貸業	4兆2,159億円	1兆2,780億円
16	15	東日本旅客鉄道	東京都	鉄道業	4兆549億円	1兆9,790億円
17	19	九州電力	福岡県	電気小売業	3兆6,381億円	1兆7,433億円
18	33	ソニーグループ	東京都	技術サービス	3兆3,516億円	9兆9,215億円
19	17	住友不動産	東京都	不動産賃貸業・管理業	3兆2,633億円	9,394億円
20	20	三井不動産	東京都	不動産賃貸業・管理業	3兆1,175億円	2兆1,009億円

図表 B 第2回「借金王ランキング」調査／ランキングベスト100

順位	企業名	有利子負債	順位	企業名	有利子負債
1	トヨタ自動車	26兆4,964億円	51	日立製作所	1兆2,341億円
2	ソフトバンクグループ	21兆4,574億円	52	KDDI	1兆2,081億円
3	本田技研工業	8兆1,026億円	53	東急	1兆1,958億円
4	三菱HCキャピタル	7兆4,616億円	54	INPEX	1兆1,802億円
5	日本電信電話	7兆3,643億円	55	東京瓦斯	1兆1,237億円
6	日産自動車	6兆9,978億円	56	クボタ	1兆945億円
7	ソフトバンク	5兆9,995億円	57	阪急阪神ホールディングス	1兆822億円
8	三菱商事	5兆6,432億円	58	三菱重工業	1兆783億円
9	東京電力ホールディングス	4兆9,426億円	59	近鉄グループホールディングス	1兆601億円
10	三井物産	4兆8,775億円	60	双日	1兆527億円
11	オリックス	4兆8,667億円	61	野村不動産ホールディングス	1兆227億円
12	関西電力	4兆8,383億円	61	デンソー	9,914億円
13	楽天グループ	4兆8,183億円	63	商船三井	9,885億円
14	武田薬品工業	4兆3,454億円	64	東京建物	9,544億円
15	東京センチュリー	4兆2,159億円	65	小松製作所	9,474億円
16	東日本旅客鉄道	4兆549億円	66	北陸電力	9,432億円
17	九州電力	3兆6,381億円	67	日本航空	9,285億円
18	ソニーグループ	3兆3,516億円	68	日本たばこ産業	9,186億円
19	住友不動産	3兆2,633億円	69	西武ホールディングス	9,109億円
20	三井不動産	3兆1,175億円	70	神戸製鋼所	9,084億円
21	住友商事	3兆214億円	71	東レ	8,980億円
22	伊藤忠商事	2兆9,059億円	72	日本酸素ホールディングス	8,903億円
23	セブン&アイ・ホールディングス	2兆8,987億円	73	アイシン精機	8,827億円
24	イオン	2兆8,968億円	74	日本製紙	8,780億円
25	三菱地所	2兆7,369億円	75	NECキャピタルソリューション	8,361億円
26	ENEOSホールディングス	2兆7,355億円	76	昭和電工	8,308億円
27	日本製鉄	2兆6,534億円	77	ルネサスエレクトロニクス	8,141億円
28	中部電力	2兆5,381億円	78	リコーリース	8,133億円
29	丸紅	2兆4,387億円	79	住友電気工業	8,073億円
30	東北電力	2兆3,749億円	80	東武鉄道	8,032億円
31	中国電力	2兆3,202億円	81	旭化成	7,663億円
32	芙蓉総合リース	2兆3,051億円	81	四国電力	7,654億円
33	みずほリース	2兆2,608億円	83	ダイキン工業	7,224億円
34	三菱ケミカルホールディングス	2兆1,600億円	84	阪和興業	7,199億円
35	豊田通商	1兆8,567億円	85	大阪瓦斯	7,155億円
36	ジェイエフイーホールディングス	1兆8,495億円	85	日本郵船	7,050億円
37	ANAホールディングス	1兆7,401億円	87	小田急電鉄	6,900億円
38	Zホールディングス	1兆6,665億円	87	スズキ	6,742億円
39	電源開発	1兆6,443億円	89	三井化学	6,661億円
40	西日本旅客鉄道	1兆6,392億円	90	王子ホールディングス	6,613億円
41	パナソニック	1兆6,306億円	91	マツダ	6,540億円
42	アサヒグループホールディングス	1兆5,962億円	92	TDK	6,315億円
43	東海旅客鉄道	1兆4,459億円	93	シャープ	6,266億円
44	大和ハウス工業	1兆4,225億円	94	イオンモール	6,198億円
45	東急不動産ホールディングス	1兆4,217億円	95	光通信	6,126億円
46	ヒューリック	1兆3,945億円	96	三菱マテリアル	6,107億円
47	豊田自動織機	1兆3,905億円	97	AGC	6,032億円
48	住友化学	1兆3,505億円	98	日本電産	5,957億円
49	出光興産	1兆3,368億円	99	パン・パシフィック・インターナショナルホールディングス	5,871億円
50	北海道電力	1兆2,670億円	100	コスモエネルギーホールディングス	5,837億円

図表 C 第2回「借金王ランキング」調査／ランキング上位企業 安全性分析

順位	企業名	現預金 回転期間	借入依存度	自己資本比率
1	トヨタ自動車	2.3か月	39.1%	38.8%
2	ソフトバンクグループ	10.0か月	45.1%	21.0%
3	本田技研工業	3.0か月	33.8%	43.7%
4	三菱HCキャピタル	3.7か月	72.2%	12.9%
5	日本電信電話	0.8か月	30.9%	34.7%
6	日産自動車	2.0か月	42.7%	30.7%
7	ソフトバンク	3.3か月	47.2%	13.2%
8	三菱商事	0.1か月	25.8%	31.4%
9	東京電力ホールディングス	1.9か月	38.5%	25.1%
10	三井物産	1.2か月	32.7%	37.6%
11	オリックス	1.0か月	50.1%	23.6%
12	関西電力	2.0か月	50.3%	19.7%
13	楽天グループ	31.5か月	28.6%	6.5%
14	武田薬品工業	2.9か月	33.0%	43.1%
15	東京センチュリー	2.3か月	74.4%	14.0%
16	東日本旅客鉄道	1.0か月	44.6%	26.6%
17	九州電力	1.8か月	68.1%	12.7%
18	ソニーグループ	2.5か月	11.0%	23.4%
19	住友不動産	1.9か月	56.2%	28.1%
20	三井不動産	0.8か月	38.0%	35.5%

※背景色ありは、「現預金回転期間」が大きい上位5社、「借入依存度」が小さい上位5社、「自己資本比率」が大きい上位5社

図表 D 第2回「借金王ランキング」調査／EBITDA ランキング

順位	企業名	業種	EBITDA
1	トヨタ自動車	自動車製造業	4兆8,176億円
2	日本電信電話	通信業	3兆3,298億円
3	ソニーグループ	電気機械器具製造業	2兆376億円
4	KDDI	通信業	1兆7,887億円
5	ソフトバンク	通信業	1兆7,092億円
6	本田技研工業	自動車製造業	1兆4,823億円
7	日立製作所	電気機械器具製造業	1兆2,785億円
8	ENEOSホールディングス	エネルギー事業	1兆1,179億円
9	武田薬品工業	化学工業	1兆440億円
10	伊藤忠商事	各種商品卸売業	9,867億円
11	セブン&アイ・ホールディングス	各種商品小売業	9,593億円
12	ソフトバンクグループ	通信業	8,524億円
13	信越化学工業	化学工業	8,451億円
14	INPEX	エネルギー事業	7,938億円
15	イオン	各種商品小売業	7,672億円
16	パナソニック	電気機械器具製造業	6,967億円
17	デンソー	自動車部品製造業	6,877億円
18	日本たばこ産業	たばこ製造業	6,861億円
19	東京エレクトロン	生産用機械器具製造業	6,360億円
20	オリックス	物品賃貸業	6,324億円

※背景色ありは、借金王ランキング上位20の企業

図表 E 第2回「借金王ランキング」調査／営業キャッシュフローランキング

順位	企業名	業種	営業キャッシュフロー
1	トヨタ自動車	自動車製造業	3兆7,226億円
2	日本電信電話	通信業	3兆103億円
3	ソフトバンクグループ	通信業	2兆7,255億円
4	本田技研工業	自動車製造業	1兆6,796億円
5	KDDI	通信業	1兆4,686億円
6	ソニーグループ	技術サービス業	1兆2,336億円
7	ソフトバンク	通信業	1兆2,159億円
8	武田薬品工業	化学工業	1兆1,231億円
9	オリックス	物品賃貸業	1兆1,034億円
10	三菱商事	各種商品卸売業	1兆1,558億円
11	日産自動車	自動車製造業	8,472億円
12	三井物産	各種商品卸売業	8,069億円
13	伊藤忠商事	各種商品卸売業	8,012億円
14	セブン&アイ・ホールディングス	各種商品小売業	7,365億円
15	日立製作所	電気機械器具製造業	7,299億円
16	日本製鉄	鉄鋼業	6,156億円
17	日本たばこ産業	たばこ製造業	5,989億円
18	楽天グループ	インターネット附随サービス業	5,827億円
19	信越化学工業	化学工業	5,535億円
20	日本郵船	外航海運業	5,078億円

※背景色ありは、借金王ランキング上位20の企業

図表 F 第2回「借金王ランキング」調査／有利子負債前年同期比 上位企業比較

順位	企業名	今期有利子負債	前期有利子負債	増減
1	トヨタ自動車	26兆4,964億円	25兆6,596億円	8,367億円
2	ソフトバンクグループ	21兆4,574億円	18兆5,130億円	2兆9,445億円
3	本田技研工業	8兆1,026億円	7兆7,210億円	3,816億円
4	三菱HCキャピタル	7兆4,616億円	4兆5,287億円	2兆9,329億円
5	日本電信電話	7兆3,643億円	7兆6,243億円	▲2,601億円
6	日産自動車	6兆9,978億円	7兆4,802億円	▲4,825億円
7	ソフトバンク	5兆9,995億円	5兆6,926億円	3,069億円
8	三菱商事	5兆6,432億円	5兆6,443億円	▲11億円
9	東京電力ホールディングス	4兆9,426億円	4兆4,958億円	4,469億円
10	三井物産	4兆8,775億円	4兆4,930億円	3,845億円
11	オリックス	4兆8,667億円	4兆7,241億円	1,426億円
12	関西電力	4兆8,383億円	3兆8,916億円	9,467億円
13	楽天グループ	4兆8,183億円	3兆5,234億円	1兆2,949億円
14	武田薬品工業	4兆3,454億円	4兆6,354億円	▲2,900億円
15	東京センチュリー	4兆2,159億円	4兆2,193億円	▲34億円
16	東日本旅客鉄道	4兆549億円	3兆6,125億円	4,424億円
17	九州電力	3兆6,381億円	3兆1,081億円	5,300億円
18	ソニーグループ	3兆3,516億円	2兆929億円	1兆2,587億円
19	住友不動産	3兆2,633億円	3兆2,483億円	150億円
20	三井不動産	3兆1,175億円	3兆808億円	366億円

図表 G 第2回「借金王ランキング」調査／有利子負債前年同期比企業別増減ランキングベスト 20

順位	企業名	業種	増加額
1	ソフトバンクグループ	通信業	2兆9,445億円
2	三菱HCキャピタル	物品賃貸業	2兆9,329億円
3	楽天グループ	インターネット附属サービス業	1兆2,949億円
4	ソニーグループ	技術サービス	1兆2,587億円
5	セブン&アイ・ホールディングス	各種商品小売業	1兆1,375億円
6	関西電力	電気小売業	9,467億円
7	トヨタ自動車	自動車製造業	8,367億円
8	ENEOSホールディングス	エネルギー事業	6,986億円
9	九州電力	電気小売業	5,300億円
10	東京電力ホールディングス	電気小売業	4,469億円
11	東日本旅客鉄道	鉄道業	4,424億円
12	パナソニック	電機機械器具製造業	4,411億円
13	阪和興業	各種商品卸売業	4,200億円
14	日本航空	航空運送業	4,133億円
15	中部電力	電気小売業	4,070億円
16	三井物産	各種商品卸売業	3,845億円
17	本田技研工業	自動車製造業	3,816億円
18	ソフトバンク	通信業	3,069億円
19	中国電力	電気小売業	2,927億円
20	Zホールディングス	インターネット附属サービス業	2,769億円
今回有利子負債増加企業合計			1,649社

※背景色ありは、借金王ランキング上位20の企業

順位	企業名	業種	減少額
1	日立製作所	電機機械器具製造業	▲1兆1,632億円
2	協和キリン	化学工業	▲8,800億円
3	日産自動車	自動車製造業	▲4,825億円
4	ブリヂストン	ゴム製品製造業	▲4,525億円
5	飯田グループホールディングス	不動産業	▲4,012億円
6	武田薬品工業	化学工業	▲2,900億円
7	日本電信電話	通信業	▲2,601億円
8	伊藤忠商事	各種商品卸売業	▲2,494億円
9	アサヒグループホールディングス	各種商品卸売業	▲2,274億円
10	住友不動産	不動産業	▲2,223億円
11	昭和電工	化学工業	▲2,046億円
12	三菱ケミカルホールディングス	化学工業	▲1,895億円
13	三菱重工業	はん用機械器具製造業	▲1,577億円
14	日本郵船	水運業	▲1,490億円
15	ライオン	化学工業	▲1,394億円
16	資生堂	化学工業	▲1,384億円
17	近鉄グループホールディングス	鉄道業	▲1,221億円
18	石油資源開発	エネルギー業	▲1,116億円
19	川崎汽船	水運業	▲1,053億円
20	クックパッド	インターネット附属サービス業	▲1,023億円
今回有利子負債減少企業合計			1,553社